



第127回 The 127th Annual Meeting of the Japan Pediatric Society

日本小児科学会学術集会

市民公開講座

新生児と小児の健診と検診

日時

2024年4月21日(日)

13:30~16:00(開場13:00予定)

会場

ヒルトン福岡シーホーク5階

オーヴ(第8会場)

〒810-8650 福岡市中央区地行浜2-2-3

TEL:092-844-8111(代表)

定員 350名

共催 KMバイオロジクス株式会社

※第1部のみ共催

後援

福岡県、福岡市、北九州市、福岡県医師会、福岡市医師会、北九州市医師会、久留米市医師会、福岡県産婦人科医会、福岡県小児科医会、福岡地区小児科医会(丹々会)、一般社団法人IBUKI

参加費
無料

※「市民公開講座」以外のプログラムには入場できません

お申込みはこちら

右記QRコードまたは、
下記URLからお申し込み
ください。



<https://site2.convention.co.jp/127jps/shimin/>

プログラム

第1部 世界の子供たちの未来 世界と日本の子供たちのこれから

第1部共催: KMバイオロジクス株式会社

🕒 13:30~14:00

【基調講演】

スロバキアと中央ヨーロッパにおける新生児医療と
新生児スクリーニングの最新動向

Nina Lenhartova, MD, PhD. (University Hospital in Martin,
Clinic of Neonatology, Slovakia)

🕒 14:00~15:00

NBS(新生児スクリーニング)によって防げる
病気もあります

「NBSとライソゾーム蓄積病: 早期介入がもたらす希望」

トカン ヴラッド(九州大学医学部小児科)

「NBSと脊髄性筋萎縮症: 早期治療の重要性と実際」

弓削 康太郎(久留米大学医学部小児科学講座)

「NBSと重症複合免疫不全症:

九州沖縄山口(Team-OKAY)の取り組み」

西川 拓朗(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科分野)

第2部 こどもの「こえ」を聴くために ~さまざまなアドボカシーのかたち~

🕒 15:00~16:00

こども・若者の意見表明・参画と政策

西崎 萌(こども家庭庁 こども意見・国際担当アドバイザー)

CAPプログラムと連動した子どもアドボカシー
派遣事業に取り組んでみて

重永侑紀(特定非営利活動法人にじいるCAP)

こども自身によるポストコロナの政策提言:
日英協働プロジェクトからみる、こどもと大人と
パートナーシップ

山口 有紗(国立成育医療研究センター)

中島 早苗(NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン)

小澤いぶき(一般社団法人 Everybeing)

本プロジェクト参加者のこどもたち

こどものこえの推進についてわたしたちができること
~小児科医を例に~

余谷 暢之(国立成育医療研究センター 成育こどもシンクタンク)

